

科目名	卒業研究ゼミ2（卒業必修）		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2021年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	井波 純		
内容および計画	<p>各自テーマを設定し、ゼミで学んだ総決算としての研究制作を行う。発想から表現手段、作品の完成までの一貫性と作品の存在意義を考察し、現代社会に適応した漆芸作品の制作を行う。年間を通しての長期制作ではあるが、作品の完成度を高めるためにもアイデアの決定はなるべく早い時期に完了することが望ましい。</p> <p>授業計画については、下記内容を元にそれぞれの学生の進捗状況に合わせて進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発想の展開を目的としたディスカッションを行う ・ 各自が制作のアイデアを提案し、表現効果の狙いを明確にする ・ 材料等の検討と表現技法を具体化し、完成までのプランを作る ・ 各自のプランに沿って制作をすすめる ・ 完成作品について制作意図や制作方法に対するプレゼンテーションを行う 		
1	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
2	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
3	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
4	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
5	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
6	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
7	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
8	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
9	福島県総合美術展覧会作品出品		
10	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
11	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
12	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
13	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
14	プレ中間発表内容の確認と研究指導		
15	プレ中間発表（日時はデザイン情報コース内で決定後に指示）		
16	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
17	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
18	中間発表の為の概要確認と研究指導		
19	中間発表（日時はデザイン情報コース内で決定後に指示）		
20	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
21	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
22	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
23	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
24	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
25	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
26	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
27	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
28	研究経過報告と研究に対する指導（毎週）		
29	卒業研究発表内容の確認およびリハーサル等		
30	卒業研究発表		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

使用しない。

参考書	使用しない。
-----	--------

成績評価

評価方法	割合(%)
卒業制作作品(福島県総合美術展覧会作品評価も含む)	50
漆芸技法の理解と実習作業に対する積極性	30
研究発表内容	20

他の分野もそうですがクラフト分野は特に実制作作品の仕上がり具合が重要です。工程を理解し、完成に向けて何をやるべきか自己判断出来るよう努力して下さい。

学習到達目標	漆芸技法について理解を深めるとともに、それぞれの卒業研究テーマに応じて活用し、地域産業や現代の生活、また、伝統文化の重要性等について言及、提案できる実作品を制作しする。
先修条件	
実務経験	
その他	